

第1章 市民アンケート結果概要

第1節 水環境

松阪市民が、周辺の環境についてどのように感じ、何に関心があるのか、また、環境をよくするために何を優先して行すべきかについて尋ねました。

1. 水環境の現状

周辺の環境についての質問で、水環境に関する項目の「櫛田川はきれいで誇れる川だ」で現状評価・満足度はともに50%以下となりました。また、「櫛田川はきれいで誇れる川だ」と比べて、「身近な川や水路の水はきれいだ」「海がきれいだ」では現状評価・満足度ともに低くなりました。このことから、市民は水環境に対して不満を抱いていることがわかります(図1参照)。

また、県や他市の意識調査と比較したところ、三重県の県民アンケート(平成11年度実施)では、「水のきれいさ」という項目で「不満」「やや不満」を合わせて48.0%でしたが、本市では、「櫛田川はきれいで誇れる川だ」「身近な川や水路の水はきれいだ」「海がきれいだ」で「不満」「やや不満」がそれぞれ47.8%

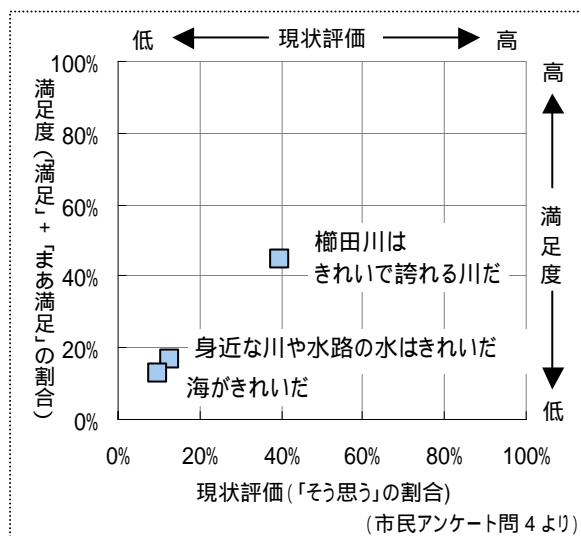


図1 水環境に対する現状評価と満足度

77.9%、78.5%でした。また、鈴鹿市の市民アンケート(平成11年度実施)では、「水が汚れている」と思っている人が58.2%であり、伊勢市の市民アンケート(平成10年度実施)では、「海、河川、池の水が汚れている」と思っている人が34%でしたが、本市では「櫛田川はきれいで誇れる川だ」「身近な川や水路の水はきれいだ」「海がきれいだ」で「そうは思わない」と答えた人がそれぞれ53.2%、82.8%、82.2%でした。市で最も大きい櫛田川に対する評価は、他市と同程度ですが、海や身近な川については、三重県民全体や他市の市民と比較して、本市の市民は厳しい評価をしています。

2. 未来に残すべき環境資源

「未来に残すべき特色のある松阪市の環境に関わる資源は何か」という問いに対して、「豊かな水資源」を1位に挙げる市民が最も多い結果となりました(図2参照)。

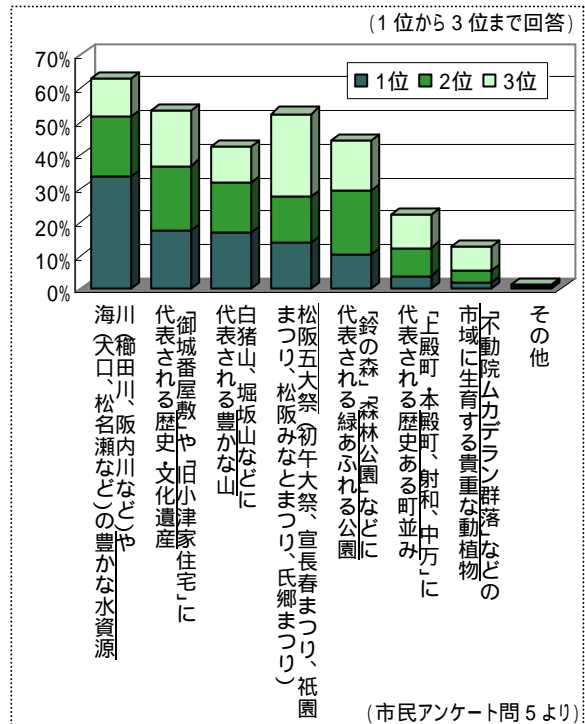


図2 未来に残すべき特色のある松阪市の環境に関わる資源

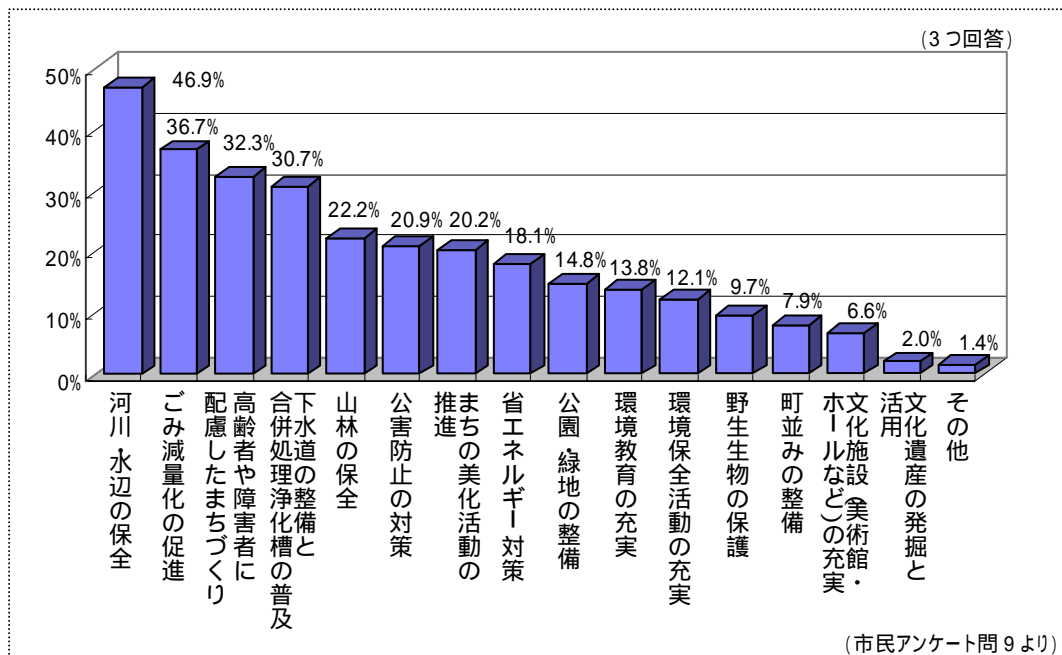


図3 今後よりよい環境をつくっていくための施策として特に重要だと思われるもの

また、地域・年代別にみても、「豊かな水資源」を1位に挙げる市民が多い結果となっており、住む地域や年齢に関係なく、多くの市民が「豊かな水資源」を本市の大切な環境資源と捉えていることがわかりました。

3. 市民が望む環境施策

「今後、よりよい環境をつくっていくための施策として、特に重要だと思われるもの」は何かという問いに対して、「河川・水辺の保全」を選んだ人が46.9%と最も多く、「下水道の整備と合併処理浄化槽の普及」も30.7%と4番目に多い結果となりました。このことから、最優先で水環境を改善して欲しいと願う市民の思いがうかがえます(図3参照)。

4. 水質汚濁に対する取り組み

日常の中でできる水質汚濁に対する取り組みとして、特に「アクリルたわしを使うなど洗剤の量をなるべく少なくする」という項目を挙げ、その取り組み状況を見ると、全体では「いつも行っている」「時々行っている」を合わせて70.0%という結果となりました。さらに

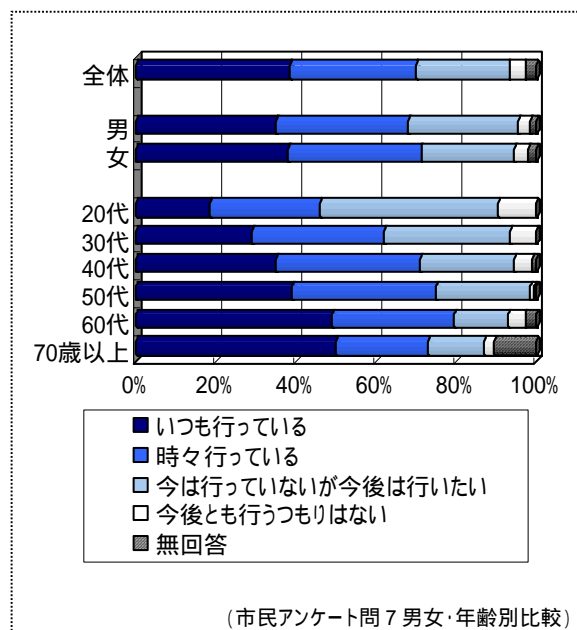


図4 「アクリルたわしを使うなど洗剤の量をなるべく少なくする」についての男女別・年齢別比較

年齢別にみると、年齢が若くなるにつれて行動に現れにくい傾向があることがわかりました。男女別では、女性の意識が高いものの、男性の意識も比較的高い結果となっています(図4参照)。また、その他の記入欄には、「アクリルたわしの作り方がわからないので配布してほしい」という意見が寄せられました。

まとめ

当市の水環境に対する市民の現状評価や満足度はともに低く、他市と比べても厳しい評価をしていることがわかりました。このことは、同時に水環境を良くすることを最優先課題とする市民が多いという結果につながっていると考えられます。また、水環境を当市の特色のある環境資源として守っていきたいと考えている市民も多く、水環境に対して強い関心を持っていることがわかりました。

水環境をよくするための取り組みでは、世代間によって取り組み状況に差があるものもあります。今後は、それぞれの差をうめるべく、情報の提供や啓発活動を行うことが重要であると考えます。

キーワード

水環境

豊かな水資源

取り組みの啓発

コラム1 よりよい環境をつくるために行っていくべきこと～小中学生との比較～

小学生・中学生も、大人と同様に水環境に関心があり、良くして欲しいと考えていることがわかりました。

市民アンケート	小学生アンケート	中学生アンケート
1位 河川・水辺の保全(46.9%)	1位 海や川をきれいにする(91.4%)	1位 川・水辺をきれいにする(58.1%)
2位 ごみ減量化の促進(36.7%)	2位 自動車の排気ガスや工場の煙を少なくする(84.3%)	2位 山林に木をたくさん植える(44.2%)
3位 高齢者や障害者に配慮したまちづくり(32.3%)	3位 電気や水を節約する(82.8%)	3位 ごみを減らす取り組み(42.3%)
4位 下水道の整備と合併処理浄化槽の普及(30.7%) (3つ回答)	4位 ごみを拾うなどの美化活動をする(80.1%) (複数回答)	4位 野生生物の保護(36.4%) (3つ回答)